



小田原・尊徳記念 がん哲学シンポジウム

支えあい、分かち合う。

患者、家族、医療者がともに紡ぐいのちの哲学

12月21日（日）10:30～13:30

会場 尊徳記念館 / 小田原市栢山 2065-1

対象 がんと共生しておられる患者様、ご家族の皆様
医療・福祉・介護関係の方
尊徳の教えに関心のある方

内容 尊徳の教えとがん哲学
地域医療についてのミニ講演
わをん演奏会など

参加費 資料代として 500 円
お子様（中学生以下）無料



♡ 主催：がん哲学外来カフェ小田原実行委員会

♡ 後援：小田原市健康づくり課

♡ 協力：ピンクリボンぷらす ODAWARA

【お問合せ】TEL≫ 090-4547-8105（がん哲小田原事務局）

MAIL≫waon2012xyz@gmail.com



小田原・尊徳記念

がん哲学シンポジウム

小田原ゆかりの思想家・二宮尊徳の報徳思想は、誠実に働き、節度を守り、余剰を人と分かち合う「共生の哲学」。
がん哲学は、病と向き合う人々が言葉と対話を通じて心を癒す実践です。
いずれも、人がよりよく生きるための知恵として、いのちに寄り添い、生きる力を育む道しるべとなります。

“がん哲学と言葉の処方箋”

2人に1人は がんと共に生きる時代 がんを哲学してみる・・・

言葉が活かされていない時代、先人やがん哲学の言葉を大切にがんと共に生きる人の心に寄り添い

市民がともに協調しあい生きる為の一步となる小田原ならではのシンポジウムを開催します

小田原で「がん哲学」というキーワードで学び語り合ひましょう

尊徳記念館視聴覚室にて

2025 年

12月21日（日）

10:30

オープニングリマークス / 開会の言葉（わをん）+ 論語（保育園大空）

小田原を中心に活動するアコースティックユニット「わをん」より開会の言葉。

音楽ボランティアにも積極的。これまで、浅草がん哲学外来に協力、参加してきている。

◎そして「保育園大空」の園児たちと「小田原の文化と教育を語る会」による論語の素読をお楽しみください。

10:40

講演1 「がん哲学」を生活に取り入れた暮らし・街づくり

【宮原富士子 / 勝海舟記念下町浅草がん哲学外来主宰】

1981年 東京薬科大学薬学部卒。2000年までノバルティスファーマ（旧社名チバガイギー）勤務。

2001年（株）ジェンダーメディカルリサーチ設立、代表取締役社長。

2002年より東京都台東区ケイ薬局勤務。現在は薬局長（在宅担当）薬剤師。

2013年より特定非営利活動法人Healthy Aging Projects for Women 理事長。

2022年 母子保健家族計画事業功労者厚生労働大臣表彰 受賞。



11:00

講演2 二宮尊徳の生き様に学ぶ～歴史に学び、人に学ぶ～

【大館仁志 / 二宮尊徳いろいろクラブ会員】

住友銀行、さがみ信用金庫勤務後、社会福祉法人東洋会にて介護研究に携わると共に小田原湯本カントリークラブ

取締役支配人、（株）むすび家取締役などを勤め、現在は介護・生き方等について各地で講演活動を行う。



11:30

講演3 「医師としての立場から今、想うこと」

【富田さつき / （医療法人社団富田医院 院長）】

東京女子医科大学卒業後、東京女子医科大学付属病院第1内科（現呼吸器内科）入局。

山近記念総合病院を経て医療法人 社団 富田医院院長。

小田原医師会感染症対策委員会担当理事。神奈川県内科医学会幹事。神奈川県内科医学会呼吸器疾患対策委員会委員。

小田原市肺結核診療影会委員。日本プライマリ・ケア連合学会予防医療・健康増進・産業保健委員会産業保健チームメンバー。

同学会認定医・指導医。同学会神奈川支部幹事。小田原医師会合唱団ソプラノ。



11:50

講演4 「つなぐ・むすぶ・つたえる～地域で生活を支える医師の立場から～」

【安達昌子 / （医療法人社団律昌会さくら醫院 院長）】

1999年 吉林大学医学部卒業、慶應義塾大学病院 内科入局。

国立埼玉病院 内科、川崎市立川崎病院 内科、慶應義塾大学病院 血液内科、医療法人社団博愛会 野中医院を経て

2017年より医療法人社団律昌会さくら醫院（静岡県熱海市）院長。浅草かんわネットワーク研究会 初代理事長、視顧問。

12:10

ミニコンサート ♪音楽と共に「わをん」が語る小田原のがん哲学のある空間

小田原でがんと共に生きる人たちへの応援エール

協力団体のご紹介

【ピンクリボンぶらす ODAWARA・レモネードスタンドささはるわをん 他】

12:45

展示閲覧・対話の時間

13:30

クロージング / 閉会の言葉（実行委員会会長・鶴井望美）